

栃木県わがまち未来創造実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	壬生町農産物ブランド『みぶの妖精』推進事業
事業主体の名称	壬生町農産物マーケティング推進協議会
代表者の名称	壬生町農産物マーケティング推進協議会会長 佐藤 久一
事業主体の所在	壬生町大字福和田1001番地9
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:消費者ニーズの多様化や市場の販売形態等の変革に的確に対応し、農産物生産組織の連携強化を図り、みぶの妖精ブランド農産物の消費拡大と販売戦略の方法等を模索し実践する。 ・設立年月日:平成18年4月21日 ・構成員等:JALもつけ壬生地区営農経済センター、生産組織の代表者、町
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>既存の「みぶの妖精」ブランド農産物(苺・トマト・ニラ)については、認知度も徐々に高まり、市場等での地位も確立しつつあるが、まだ向上する余地がある。また、平成25年度から町の新しい特産物としてPRを始めた“壬生菜”についても、各種イベントでのPRや和食の料理店で使ってもらえるよう働きかけてきたが、まだ浸透が十分ではない。</p> <p>PR方法や対象者などが限定されてしまっていることなども考えられるため、今後は、これまでの手法等を見直しながら、町外ひいては県外への販促の拡大も見据え、効果の高いPRを検討・実施していく必要がある。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ○苺・トマト・ニラ、そしてみぶ菜といった「みぶの妖精」ブランド農産物を積極的にPRし、認知度を高める。 ○「みぶの妖精」ブランド農産物を町の特産品と位置づけ、新たな壬生町の魅力を掘り起し、さらなる地域づくり及び経済の活性化につなげることを目的とする。 ○地元農産物のさらなる品質の向上を目指す。
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>①情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存のブランド農産物や壬生菜の知名度を向上させるため、“産業まつり”や“みぶの日”等の町内のイベントで、来場者への壬生菜料理の試食や無料配布等を行い、町内への「みぶの妖精」ブランドの浸透定着を図った。 ・県庁で実施する「食と農ふれあいフェア」等、町外のイベントにおいて、「みぶの妖精」ブランドや“みぶ菜の日(3月27日)”のPR活動を行い、町外への販路の拡大を図った。 ・29年度に新たに製作したバルーンタイプのミナーの着ぐるみで、各種イベントでPR活動を行った。 ・「みぶの妖精」の商標登録を昨年度更新したので、全国に「みぶの妖精」を発信した。 <p>②販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「壬生菜」の市場出荷を試行した。(出荷用ダンボール作成) ・「壬生菜」の市場出荷を引き続き実施するとともに、安定供給を図った。 ・壬生菜料理のレシピ集を配布し、壬生菜を使用したメニューを知ってもらい、販売促進を図った。 <p>③情報交換(研究・開発)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“壬生菜”のさらなる生産振興のため、毎月、生産者、JA及び下都賀農業振興事務所と栽培に関する課題や要望等についての情報交換会を行った。 <p>④PR活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苺出荷組合、トマト部会及びニラ部会のそれぞれのメンバーが、町内外における販路拡大、さらなる農産物の品質向上を図るため、現地での消費者ニーズを把握したり、生産・栽培に係る様々な情報を得ることを目的に、京浜市場、㈱宮果、及び各種スーパー等での販売促進を見据えた視察研修(PR活動)を行った。 <p>【平成31年度】前年度の反省点等を踏まえ、継続して実施</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標:壬生町における安定した雇用を創出する 戦略プロジェクト:農商工業連携による町の活性化 KPI:地域ブランド品目認定数 10件 ⇒ 20件【H30実績:0件】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
	①情報発信 ②販売促進 ③情報交換 ④視察研修		①みぶの妖精情報発信 ②販売促進 ③情報交換 ④PR活動 ⑤着ぐるみの製作 ⑥PRグッズの作成	①みぶの妖精情報発信 ②販売促進 ③情報交換 ④PR活動 ⑤PRグッズの作成	
事業費	1,252,486	2,567,538	1,494,638	5,314,662	560,000
市町支出金 (ソフト事業分)	500,000	1,700,000	560,000	2,760,000	560,000
うち県交付金	250,000	850,000	280,000	1,380,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	752,486	867,538	934,638	2,554,662	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	農政課農業振興係
担当者名	人見 恭司
電話	0282-81-1839
FAX	0282-82-1107
E-mail	nousei@town.mibu.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画実績書(単位事業収支精算書)

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	壬生町農産物ブランド『みぶの妖精』推進事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
町助成金	560,000	
部会負担金	300,000	苺出荷組合150,000円、トマト部会100,000円、ニラ部会50,000円
雑収入	62,214	
繰越金	572,424	
計	1,494,638	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市町交付金	県交付金		
旅費	123,930	122,000	61,000	1,930	市場訪問 新宿・川崎等 (交通費 4回分)
消耗品費	190,817	180,000	90,000	10,817	みぶ菜シール32,400円 みぶ菜マルチ8,136円 みぶ菜袋15,120円 みぶ菜PR用堆肥5,560円 みぶ菜農薬2,600円 みぶ菜種子3,240円 いちご王国看板641円 いちご王国燃料4,320円 みぶの妖精PR費 付箋118,800円
印刷製本費	86,400	86,000	43,000	400	みぶ菜パンフレット @86.4×1,000枚=86,400円
広告費	237,143	172,000	86,000	65,143	PR用苺・トマト・にら・みぶ菜 新・農業者フェア
食糧費	2,100	0	0	2,100	みぶ菜情報交換会お茶代
繰越金	854,248	0	0	854,248	
				0	
計	1,494,638	560,000	280,000	934,638	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市 町 名	壬生町
事 業 名	健康長寿のまちづくり推進事業
事業主体の名称	健康長寿のまちづくり推進協議会
代表者の名称	民生部長 神長 利雄
事業主体の所在	〒321-0292 下都賀郡壬生町通町12番22号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:行政と地区組織が協働して、壬生町の健康長寿の延伸を目指します ・設立年月日:平成27年4月 ・構成員等:○みぶまち・獨協健康大学修了生の会 ○壬生町保健委員会 ○食生活改善推進員 ○行政(健康増進係・地域包括支援センター)
当該事業に係る地域の現状と課題	当町の健康寿命は全国的にも低く、介護保険事業費や医療費の増大が危惧されていることから、昨年度、当事業において、食生活に関するアンケートをはじめ、町民の塩分摂取に関する調査を実施し、1,000人以上の町民から回答があり、壬生町の健康課題が明らかになった。これらを踏まえ、引き続き、町民自らが自身の健康について考え、実践することのできる環境づくりを進めていく必要がある。
事業目的	町民一人ひとりが自分の生活習慣を見直し、病気の予防について実践し、健康で自立した生活を送れるようになることで町の活力維持を図るとともに、将来的に「健康長寿のまち」として、町の魅力向上並びに健康寿命の延伸につなげることを目的とする。
事業概要	<p>【平成30年度】 【健康リーダー育成事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①健康大学の修了生を中心に、共同研究の検証に基づき、減塩対策の調理実習及び運動教室・健康教室を計4回実施。(12/13・12/18・1/25・3/15) ②健康大学の修了の活動報告会実施。(2/14)また各地区サロンにおいて健康づくりや介護予防に関する教室を実施。 ③地区組織・ボランティア団体と協働した健康づくり <ul style="list-style-type: none"> ・健康ふくしまつり等で、減塩の啓発や健康クイズを実施、健康長寿のまちづくりの推進を図った。(10/28) ・保健委員による健康クイズの実施、食生活改善推進委員より減塩についての啓発を実施。 <p>【獨協医科大学との共同研究事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ④昨年度に引き続き、特定健診・介護・医療のデータのマッチングを実施、検証を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・健康診断のデータ等のマッチングにより町の課題を抽出し、中間報告会を実施(2/14) <p>【平成31年度】 【健康リーダー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各健康リーダーの活動と共同研究の検証を踏まえ、健康長寿のまちづくりに向けた事業を企画・開催。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標:壬生町で安心して元気に暮らす 戦略プロジェクト:健康長寿のまちづくり KPI: 特定健康診査受診率 H27年29.3% ⇒H31年35.0% 【H29実績:32.2%】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	①健康大学の修了生が町民を対象に健康づくり、介護予防に関する講演会を企画、実施した ②地域におけるラジオ体操の推進・イベントにおける啓発した ③地区組織・ボランティア団体と協働した健康づくり ④健康寿命延伸についての会議の開催した	①健康大学の修了生が町民を対象に健康づくり、介護予防に関する講演会を企画、実施する ②地域におけるラジオ体操の推進・イベントにおける啓発 ③地区組織・ボランティア団体と協働した健康づくり ④健康寿命延伸についての会議の開催	①健康大学の修了生を中心に、共同研究の検証に基づき、事業を開催。 ②健康大学の修了生が地区サロンにおいて健康づくり等の教室を開催。 ③地区組織・ボランティア団体と協働した健康づくり ④健康寿命延伸についての会議の開催		各健康リーダーの活動と共同研究の検証を踏まえ、健康長寿のまちづくりに向けた事業を企画・開催。
事業費	300,079	300,001	300,000	900,080	300,000
市町支出金(ソフト事業分)	300,000	300,000	300,000	900,000	300,000
うち県交付金	150,000	150,000	150,000	450,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	79	1	0	80	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	健康福祉課
担当者名	宮下 佐知代
電話	0282-81-1885
FAX	0282-81-1121
E-mail	kenko@town.mibu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	健康長寿のまちづくり推進事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町補助金	300,000	
計	300,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	54,927	54,927	27,463	0	講演会講師料金 ・栄養士@13,364円 ・運動指導士@20,000円他
需用費(事業消耗品費)	214,042	214,042	107,021	0	講演会消耗品費 @9,504円 ・教室必要物品(ファイル・ボール・タオル等)@193,879円 ・サロン健康づくり消耗品費 @4,699円 ・参考図書 @5,960円
需用費(賄材料費)	14,539	14,539	7,270	0	・健康教室材料費 @14,539円
食糧費	2,408	2,408	1,204	0	・講演会講師用
印刷製本費	12,788	12,788	6,394	0	講演会・ウォーキング大会資料印刷 @12,788円
手数料	1,296	1,296	648	0	振り込み手数料
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	300,000	300,000	150,000	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	花のまちづくり推進事業
事業主体の名称	壬生花の街づくりの会、安塚駅前広場「花愛好会」、花のまちづくり にじの会、チームOW、マミーポットみぶ
代表者の名称	駒場 清子 ほか4名
事業主体の所在	栃木県下都賀郡壬生町本丸二丁目11-17 ほか4箇所
事業主体の概要	・団体の目的:コミュニティの中心となる公共公益空間を緑化し、地域住民に緑化活動の輪を広げる。また、緑化の場を、地域コミュニティ全体に広げ、花と緑にあふれた町とする。 ・設立年月日:H24.4.1(壬生花の街づくりの会)H25.4.1(安塚駅前広場「花愛好会」)H26.4.1(花のまちづくり にじの会)H27.4.1(チームOW)H27.4.1(マミーポットみぶ) ・構成員等:緑化活動に意欲的な住民有志
当該事業に係る地域の現状と課題	平成23年度に壬生町が実施した「花のまちづくりボランティア講座」の修了生により花のまちづくりボランティア団体を結成し、「花と緑があふれる町、壬生」を目指し花壇の維持管理を行っている。しかし、団体のメンバーは高齢化が進んでいるため、将来的に花壇を維持できるか、「花と緑があふれる町、壬生」を発展させることができるか不安がある。そのため、いかに若い世代の新メンバーを獲得し、将来的に花壇を管理、発展させていけるかが課題となっている。
事業目的	「花と緑があふれる町、壬生」をつくる 「花と緑があふれる町、壬生」を発展する体制をつくる
事業概要	役場前やみらい館、駅前広場など人が集まる場所において、グループ間で連携を取りながら緑化活動を行い、「花と緑があふれる町、壬生」を目指す。また、成人式やクリスマス等のイベントにおいて、花による飾りつけを提供することによって若い世代の関心を引き、併せて町民活動支援センター「みぶりん」のHP等において中学生のボランティアを募集するなどして、後継者の発掘・育成につなげる。 ・壬生花の街づくりの会:町役場前自成館の花弁植替え(4月、5月、9月、11月)、除草・摘花作業(随時) ・安塚駅前広場「花愛好会」:安塚駅西口広場花弁植替え(6月、8月、11月)、除草・摘花作業(随時) ・花のまちづくり にじの会:おもちゃのまち駅東口広場花弁植替え(4月、5月、9月、12月)、除草・摘花作業(随時) ・チームOW:おもちゃのまち駅西口広場花弁植替え(6月、11月)、除草・摘花作業(随時) ・マミーポットみぶ:みらい館の花弁植替え(6月、11月)、除草・摘花作業(随時) 【平成31年度】昨年度の反省点等を踏まえ、事業は継続する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	基本目標:壬生町への新しい人の流れをつくる 戦略プロジェクト:郷土愛の醸成によるUIターン推進 KPI:中学生等地域活動参加人数 400人 ⇒453人

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	・植栽帯等の整備及び維持管理(4団体)	・植栽帯等の整備及び維持管理(5団体)	・植栽帯等の整備及び維持管理(5団体)、地域住民への緑化活動の推進		・植栽帯等の整備及び維持管理(4団体)地域住民への緑化活動の推進
事業費	570,196	1,087,479	1,080,002	2,737,677	935,000
市町支出金(ソフト事業分)	570,000	1,080,000	1,080,000	2,730,000	935,000
うち県交付金	285,000	540,000	540,000	1,365,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	196	7,479	2	7,677	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	建設部都市計画課公園緑地課係
担当者名	三上 英俊
電話	0282-86-7117
FAX	0282-25-7474
E-mail	toshikei@town.mibu.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	花のまちづくり推進事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	1,080,000	花のまちづくりボランティア補助金(142,500円×4団体、510,000円×1団体)
雑費	2	預金利子 2円
計	1,080,002	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
消耗品費	1,068,342	1,068,340	534,170	2	花苗、肥料、培養土、殺虫剤、作業用具
保険料	11,660	11,660	5,830	0	保険料
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	1,080,002	1,080,000	540,000	2	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	壬生町産業交流活性化事業
事業主体の名称	壬生町産業交流活性化事業実行委員会
代表者の名称	壬生町産業交流活性化事業実行委員会 会長 櫻井康雄
事業主体の所在	壬生町通町12番22号
事業主体の概要	<p>・団体の目的:壬生町内の各種事業者や関係機関が連携を図り、セミナーや交流会を実施することにより地域産業の発展を目指す。</p> <p>・設立年月日:平成28年11月29日</p> <p>・構成員等:壬生町、壬生町商工会、栃木地区法人会壬生地区会、JALもつけ、壬生町金融団</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>本町は東武鉄道宇都宮線の4つの駅を中心に市街地が形成され、それぞれに商業地域が存在すると共に、4つの工業団地を柱とした製造業等の企業が操業しておりますが、各業種間の交流の機会が不足している現状です。農業でいう“地産地消”の考え方が、商工業分野においても浸透することが望まれており、ここに農業分野を加えた、商工農業種間での原材料や物品の調達、消費が町内で完結できる仕組み作りが課題となっています。</p> <p>このようなことから、町内の産業が競争力を持ち、成長を持續してゆくため、事業者間、他産業との連携を図っていく必要があります。</p>
事業目的	<p>本町の企業等の事業経営に関するスキルアップを図ると共に、ビジネスチャンスの創出を図り、産業の発展につなげることを目的としています。本事業は異業種間の交流・連携を深め、共存共栄体制構築の一助とするものです。</p>
事業概要	<p>実施期日:平成31年2月15日(金)10:00~13:00 会 場:壬生町城址公園(壬生中央公民館)研修室及び中ホール 対象者 :町内商工業者、金融機関、農業関係者、医療機関関係者、学校関係者、町議会議員、商工会役員等 事業内容:以下のとおりです。なお、参加料として、1人1,000円を徴収した。</p> <p>①ビジネスセミナー(講演会)の実施 ・経済ジャーナリストの、内田裕子氏を講師に迎えセミナーを実施した。 【題名】「日本経済の大転換点、中小企業にチャンスあり」【参加人数】84名</p> <p>②交流会の実施 ・上記セミナー終了後、立食形式による交流会を開催した。町内の幅広い業種の方、合計84名が参加し、異業種間での交流を図った。</p> <p>③交流会時に、昨年度新たに町ブランドに認定された「大名料理」のPRを実施した。</p> <p>④参加企業等のPRコーナー設置 ・交流会場では、参加企業9社による事業PR(展示、パンフレット配布など)を実施した。</p> <p>⑤参加者へ、町のPRパンフレット等を配布した。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標:壬生町における安定した雇用を創出する 戦略プロジェクト:産業の振興と雇用の創出 KPI:産業振興奨励金交付企業数 5社→15社</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①ビジネスセミナー ②経営者交流会 ③企業PRコーナー設置	①ビジネスセミナー ②ビジネス交流会 ③企業PRコーナー設置 ④企業の事業紹介プレゼンテーション ⑤中小企業向け施策のハンドブック配布	①ビジネスセミナー ②ビジネス交流会 ③企業PRコーナー設置 ④「大名料理」プレゼンテーション ⑤町PRパンフレット等の配布		①ビジネスセミナー ②経営者交流会 ③企業PRコーナー設置
事業費	652,000	634,000	634,001	1,920,001	700,000
市町支出金 (ソフト事業分)	400,000	400,000	400,000	1,200,000	400,000
うち県交付金	200,000	200,000	200,000	600,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	252,000	234,000	234,001	720,001	300,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課 工業係
担当者名	飯島 弘晃
電話	0282-81-1845
FAX	0282-82-1107
E-mail	keizai@town.mibu.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	壬生町産業交流活性化事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町補助金	400,000	
負担金	150,000	壬生町商工会、栃木法人会壬生地区会、JALもつけ、壬生町金融団
参加料	84,000	1人当たり1,000円×84人
雑収入	1	預金利子
計	634,001	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
特別旅費	11,020	11,020	5,510	0	講師交通費
消耗品費	50,858	49,320	24,660	1,538	セミナー・交流会用消耗品
食糧費	232,463	0	0	232,463	交流会の飲食費
印刷製本費	15,120	15,120	7,560	0	参加者募集チラシ
手数料	540	540	270	0	振込手数料
委託料	324,000	324,000	162,000	0	講師派遣委託料
				0	
				0	
				0	
				0	
計	634,001	400,000	200,000	234,001	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市 町 名	壬生町
事 業 名	健康ふくしまつり開催事業
事業主体の名称	壬生町健康ふくしまつり実行委員会
代表者の名称	会長 小菅 一弥
事業主体の所在	〒321-0292 下都賀郡壬生町通町12番22号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:健康増進、福祉に関する普及・啓発活動の展開を通じて町民の意識効用のために事業実施を目的とする ・設立年月日:平成2年 ・構成員等:町長、副町長、町社会福祉協議会長、委員
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・町民の高齢化が進み、事業参加差も長年参加している団体が多く、来場者も高齢の方が多い。若年層の事業参加や来場者を増やしていく必要がある。 ・福祉事業に関する団体の参加も多く、福祉に関する意識は高いが、今後は町の健康寿命延伸のためにも町民の健康増進意識の更なる向上を目指す必要がある。
事業目的	町民の健康意識・福祉意識の高揚を図るため
事業概要	<p>○平成30年度取組</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 町医師会による健康に関する講演会「すい臓がんを知ろう」 2 町歯科医師会による歯科相談・口腔がん検診、母子保健推進員による子どもの身体測定やこども向けの屋内遊具 3 健康増進意識向上のための体験コーナー(骨密度測定や血管年齢チェック)や啓発活動の普及(町食生活改善推進員による野菜350gチャレンジ、減塩対策の展示)、エコキャップ回収 4 介護・福祉施設の案内や、介護・福祉用具の展示。地域包括支援センターによる介護・看護相談 5 参加団体による手話・点字・傾聴・車イスの体験コーナー 6 町職員による、年金・行政相談 7 保健事業・福祉事業功労者、よい歯のコンクール入賞者表彰 8 町内中学生有志によるのボランティア参加 9 町保健委員会による健康O×クイズの開催 <p>○平成31年度取組(予定)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 体力測定や健康チェック、心の健康チェック(若年層自殺対策)
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標:壬生町で安心して元気に暮らす 戦略プロジェクト:健康長寿のまちづくり KPI:健康寿命 男77.92年 女81.25年(H22)⇒男81年 女85年(H32)【H28年度実績:男78.99年 女83.94年】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	1 町医師会による講演会・町歯科医師会による歯科相談 2 町民の健康増進意識向上のための啓発活動 3 福祉活動の体験	1 町医師会による講演会・町歯科医師会による歯科相談 2 町民の健康増進意識向上のための啓発活動 3 福祉活動の体験	1 町医師会による講演会・町歯科医師会による歯科相談 2 町民の健康増進意識向上のための啓発活動 3 福祉活動の体験		1 町医師会による講演会・町歯科医師会による歯科相談 2 町民の健康増進意識向上のための啓発活動 3 福祉活動の体験
事業費	1,790,000	1,800,001	1,800,000	5,390,001	1,800,000
市町支出金(ソフト事業分)	1,520,000	1,530,000	1,530,000	4,580,000	1,530,000
うち県交付金	760,000	765,000	765,000	2,290,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	270,000	270,001	270,000	810,001	270,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	健康福祉課
担当者名	鈴木 颯人
電話	0282-81-1885
FAX	0282-81-1121
E-mail	kenko@town.mibu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	壬生町健康ふくしまつり開催事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町補助金	1,530,000	
補助金	270,000	壬生町社会福祉協議会補助金
雑収入	1	利息
計	1,800,001	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
委託料	1,561,426	1,291,426	645,713	270,000	会場設営(1,208,266円)、看板設営(259,200円)他
報償費	84,600	84,600	42,300	0	出演者(71000円) 手話通訳謝礼(13,600円)
消耗品費	129,935	129,934	64,967	1	事務用品等(印刷用紙5,022円、延長コード3,412円、ホワイトボードマーカー1,200円)他
食糧費	18,532	18,532	9,266	0	講演者・出演者昼食・飲み物(お弁当16,900円)他
役務費	1,836	1,836	918	0	振込手数料
会議費	3,672	3,672	1,836	0	会議お茶代
				0	
				0	
				0	
				0	
計	1,800,001	1,530,000	765,000	270,001	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市 町 名	壬生町
事 業 名	壬生町デスティネーションキャンペーン推進事業
事業主体の名称	壬生町DC実行委員会
代表者の名称	会長 小菅 一弥
事業主体の所在	壬生町通町12番22号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: JRの大型誘客キャンペーンに合わせ壬生町の地域資源をPRし本町への誘客拡大を図る。 ・設立年月日: 平成29年3月設立 ・構成員等: 観光協会、商工会、おもちゃ団地協同組合など
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>栃木県において、JRのデスティネーションキャンペーン(通称DC)「本物の出会い栃木」が平成30年4月から6月の期間で開催され、観光振興の機運が高まっております。壬生町には、「歴史」や「文化」「おもちゃ」などの豊富な地域資源があるにも関わらず、十分にPRがされていない状況です。本キャンペーンを機会とし、DCと連携しながら、壬生町の地域資源を全国に発信することが期待されております。</p>
事業目的	<p>DCは、平成29年度をブレDC、平成30年度を本DC、平成31年度をアフターDCと位置付けられており、対象期間内における重点観光PRが重要な鍵となっております。本事業では、壬生町が有する地域資源の情報発信を行い、本町を訪れる人を増やす。本町を訪れた方に対し、「おもてなし」と「壬生でしか得られない思い出づくり」を提供し、再訪を促す。</p>
事業概要	<p>DCは、平成29年度をブレDC、平成30年度を本DC、平成31年度をアフターDCと位置付けられており、対象期間内における重点観光PRが重要な鍵となっていることから、平成29年度及び平成30年度の事業規模が大きな計画となっております。平成30年1月には、473室の県内最大級のビジネスホテルが完成するなど、本町の観光振興の大きなチャンスと捉えております。本事業を実施することにより、既存の観光資源の磨き上げを行い、新たな観光資源を発掘し、観光客の誘客促進を図ります。</p> <p>【平成30年度】</p> <p>①まち歩き&サイクルマップ作成事業 城下町を中心とした歴史ある壬生地区を感じられる「まち歩き」マップを作成する。昨年整備したレンタサイクルの貸し出し拠点3か所を中心としたレンタサイクルマップを作成し、誘客を図った。</p> <p>②観光プロモーション事業 旅行会社と連携して新たなツアーの造成や町外への観光PRを図った。</p> <p>③まち愛スポット事業 昨年度3月より開始した、トイレ利用や休憩、観光情報がある認定休憩施設を増やし、おもてなし力を向上させた。</p> <p>④観光ノベルティ作成事業 オリジナルビニール袋やオリジナル法被を作成することで、PR強化を図った。</p> <p>【平成31年度】 平成30年度の事業成果を活用し、本DCで壬生町への誘客拡大を図ります。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>壬生町創生総合戦略 基本目標2 壬生町への新しいひとの流れをつくる 【数値目標】観光客入込数 3,805,764人(H26)→25%増加(H31)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①グーグルマップ連携WEBサイト作成事業 ②休憩所協力認定事業 ③観光ガイドパンフレット作成事業 ④WEBを活用した町内周遊	①まち歩き&サイクルマップ作成事業 ②観光プロモーション事業 ③まち愛スポット事業 ④観光ノベルティ作成事業	①観光プロモーション事業 ②まち愛スポット事業 ③観光ノベルティ作成事業		①観光プロモーション事業 ②まち愛スポット事業 ③観光ノベルティ作成事業
事業費	2,000,003	2,000,007	1,800,000	5,800,010	500,000
市町支出金(ソフト事業分)	2,000,000	2,000,000	1,800,000	5,800,000	500,000
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	900,000	2,900,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	3	7	0	10	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課商業観光係
担当者名	落合正浩
連絡先	電話 0282-81-1844
	FAX 0282-82-1107
	E-mail keizai@town.mibu.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	壬生町destinationキャンペーン推進事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	精算額 (見込)	備考
壬生町補助金	2,000,000	栃木県わがまち未来創造事業補助金1,000,000円 壬生町補助金 1,000,000円
雑入	7	預金利子
計	2,000,007	

2 支出の部

科目	精算額 (見込)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	50,000	50,000	25,000	0	謝礼2名
旅費	40,080	40,080	20,040	0	東京等PR6回
消耗品費	252,316	252,309	126,155	7	PR消耗品
食糧費	5,021	5,021	2,510	0	有識者等お茶代
印刷製本費	641,742	641,742	320,871		まち歩きマップ1種類3000部 サイクルマップ1種類5000部 まち愛看板20枚 イベントチラシ1000枚、 イベントポスター1000枚
広告費	389,416	389,416	194,708		広告宣伝5回
委託料	621,432	621,432	310,716		オリジナルビニール袋3000枚 PR用のぼり旗20枚 イベント連携バス運行業務 オリジナル法被20着
計	2,000,007	2,000,000	1,000,000	7	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市 町 名	壬生町
事 業 名	壬生まちなか創生プロジェクト
事業主体の名称	壬生まちなか創生ワーキング
代表者の名称	会長 水井正行
事業主体の所在	壬生町通町12番22号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 壬生市街地エリアの賑わい創出を目的とする。 ・設立年月日: 平成29年6月 ・構成員等: 地元商店主、タクシー事業者、大学、銀行、商工会、メディア、壬生町
当該事業に係る地域の現状と課題	壬生市街地エリアは、壬生藩城下町、日光例幣使街道宿場町、そして、まち医者が多いことから、蘭学のまちとして、壬生町の中心街です。しかしながら、近年、自動車に依存した生活スタイルの変化や郊外の大型商業施設の立地等により、人通りが減少しております。さらには、店舗等経営者の後継者確保に苦慮しており、空き店舗等が増加している状況です。
事業目的	壬生まちなか創生ワーキングは、地方創生の「産・官・学・金・労・言」により構成されており、地方創生を現場レベルで推進する組織として、平成29年6月に設立しました。本地域が有する地域資源の発掘や活用、地域で活躍する人材の育成、地域の魅力発信などを行い、壬生市街地の賑わい創出する。
事業概要	<p>壬生まちなか創生ワーキングは、壬生市街地の活性化を図るため、参加メンバーの各種アイデアをもとに、事業を展開しております。本地区内に埋もれた地域資源を有効に活用し、近隣住民に愛されるイベント、地区を目指し、人と人とのつながりにより、地区の魅力を発信、向上してまいります。</p> <p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①夢浪漫情報発信強化事業 地区内にある情報交流スペースにおいて、パンフレット等を設置し賑わい創出を行いました。 ②まちなかイベント開催事業 役場西側の道路を歩行者天国にして、町内の飲食店等が協力する「ライデンマルシェ」や子ども達が1日店長となって働く「みぶっ子まちなかストリート」、そして、新たに「壬生流ふくべたちのハロウィンナイト」を開催し、地区内の賑わいを創出しました。 ③まちなか周遊イベント開催事業 壬生地区に隣接する東雲公園で開催されるサクラ祭りと連携し、地区内の商店等にもお客様が来るパズルラリーを開始しました。 ④まちなか街灯フラッグ設置事業 かんぴょうの実(ふくべ)を使ったオリジナルのジャックオーランタンを作成し、商店街約20軒に設置し、賑わい創出を図りました。 <p>【平成31年度】</p> <p>平成30年度実施事業を検証しながら、エリア内でのミニイベント等の開催を増やし、活性化に繋がります。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	壬生町創生総合戦略 基本目標2 壬生町への新しいひとの流れをつくる 【数値目標】観光客入込数 3,805,764人(H26)→25%増加(H31)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①まちなか周遊スタンプラリー事業 ②観光交流スペースまちなか情報発信強化事業 ③自成一館周辺でのミニまちなかPRイベント開催事業 ④まちなか子ども商店街事業	①夢浪漫情報発信強化事業 ②まちなかイベント開催事業 ③まちなか周遊イベント開催事業 ④まちなか街灯フラッグ設置事業	①夢浪漫情報発信強化事業 ②まちなかイベント開催事業 ③まちなか周遊イベント開催事業 ④まちなか街灯フラッグ設置事業		①夢浪漫情報発信強化事業 ②まちなかイベント開催事業 ③まちなか周遊イベント開催事業 ④まちなか街灯フラッグ設置事業
事業費	1,000,003	1,000,003	2,000,000	4,000,006	500,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	1,000,000	2,000,000	4,000,000	500,000
うち県交付金	500,000	500,000	1,000,000	2,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	3	3	0	6	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課商業観光係
担当者名	落合正浩
電話	0282-81-1844
FAX	0282-82-1107
E-mail	keizai@town.mibu.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	壬生まちなか創生プロジェクト	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	精算額 (見込)	備考
壬生町補助金	1,000,000	栃木県わがまち未来創造事業補助金500,000円 壬生町補助金 500,000円
雑入	3	預金利子
計	1,000,003	

2 支出の部

科目	精算額 (見込)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	100,000	100,000	50,000	0	謝金4名
消耗品費	216,918	216,915	108,458	3	子ども店長装飾品、ふくべ
保険料	11,085	11,085	5,542	0	イベント保険料
食糧費	1,205	1,205	602	0	有識者会議用
印刷製本費	285,353	285,353	142,677	0	イベントチラシ3000枚×5回 イベントポスター20枚×5回
委託料	361,792	361,792	180,896	0	イベント等開催支援業務
備品購入費	23,650	23,650	11,825	0	ハンド電動ドリル
				0	
				0	
				0	
				0	
計	1,000,003	1,000,000	500,000	3	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	「みぶブランド」インスパイア ～新たな商品価値～
事業主体の名称	みぶブランド推進協議会
代表者の名称	会長 櫻井康雄
事業主体の所在	壬生町通町12番22号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:みぶブランドとして、商品を認定し、町外への町商品のPRを推進する。 ・設立年月日:平成24年2月15日 ・構成員等:民間企業、調理師専門学校、おもちゃ団地協同組合、町
当該事業に係る地域の現状と課題	みぶブランドは、平成26年度の初認定から、これまでに19社35商品が認定となっております。これまで、認定商品を認定企業からいただいた商品案内等を中心に、商品PRを行っていましたが、町民等の認知度向上に苦慮している状況です。販売については、認定されたことにより増加したものの、さらなる向上が必要であります。
事業目的	本事業では、みぶブランドとして認定された商品の認知度向上と、販売促進を図ります。
事業概要	<p>みぶブランドの認知度向上には、認定商品を使った新しい料理などの展開や認定業者相互連携による新たな商品展開が望まれており、本事業を実施いたします。</p> <p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①みぶブランド認定審査事業 認定審査を1回開催し、新たな商品を認定し、ブランド力の向上に取り組みました。 ②みぶブランドPR事業 各種イベントやパンフレット等を作成し、PRを図りました。 ③みぶブランド逸品づくりプロジェクト 大名料理認定事業に取り組み、新たな食のブランドを開始しました。 <p>【平成31年度以降】</p> <p>平成30年度に実施した事業を検証しながら、事業を推進します。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	壬生町創生総合戦略 戦略プロジェクト1-2 農工商業連携による町の活性化 KPI:地域ブランド品目認定数 10件(H26)→20件(H31)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①みぶブランド認定審査事業 ②認定商品インスパイア事業 ③認定商品PR事業	①みぶブランド認定審査事業 ②みぶブランドPR事業 ③みぶブランド逸品づくりプロジェクト	①みぶブランド認定審査事業 ②認定商品インスパイア事業 ③認定商品PR事業		①みぶブランド認定審査事業 ②認定商品インスパイア事業 ③認定商品PR事業
事業費	500,004	1,000,005	2,594,000	4,094,009	500,000
市町支出金(ソフト事業分)	500,000	1,000,000	2,594,000	4,094,000	500,000
うち県交付金	250,000	500,000	1,297,000	2,047,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	4	5	0	9	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課商業観光係
担当者名	深津栄美
電話	0282-81-1844
FAX	0282-82-1107
E-mail	keizai@town.mibu.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	「みぶブランド」インスパイア ～新たな商品価値～	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	精算額 (見込)	備考
壬生町補助金	1,000,000	栃木県わがまち未来創造事業補助金500,000円 壬生町補助金 500,000円
雑入	5	預金利子
計	1,000,005	

2 支出の部

科目	精算額 (見込)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	122,000	122,000	61,000	0	認定審査会4200×1回 講師代等80,000(50,000、 30,000)
消耗品費	120,192	120,187	60,093	5	養生テープ、ビニール袋、ラベ ルシール等
食糧費	0	0	0	0	
印刷製本費	247,859	247,859	123,930	0	パンフレット3,000部
委託費	491,756	491,756	245,878	0	大名料理パンフレット制作業 務 大名料理モニターツアー業務 トークショー案内業務
負担金、補助及び交付金	18,198	18,198	9,099	0	イベント出店負担金
				0	
				0	
計	1,000,005	1,000,000	500,000	5	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	「郷土の偉人顕彰作業」
事業主体の名称	「郷土の偉人顕彰作業」実行委員会
代表者の名称	教育長 田村幸一
事業主体の所在	〒321-0225 栃木県下都賀郡壬生町本丸1-8-33(壬生町立歴史民俗資料館内)
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:郷土の偉人を知ることにより、郷土文化の再認識と高揚を図ります。 ・設立年月日:平成29年4月8日 ・構成員等:教育長、壬生論語検定実施委員会他
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>地域の特徴・現状・課題等(事業の内容と関連するもの)を記載</p> <p>「郷土の偉人顕彰作業」実行委員会では、平成4年度から小学校との連携により「郷土の偉人顕彰作業」を開始しております。その作業の中で「論語の街・壬生」そして、「学問の府・壬生」を見だし、「街づくり」の一環として情報を発信しています。この発信された歴史から、平成25年度に刊行しました『壬生論語古義抄』を副読本として、管内小学校は「論語」を誦する素読を導入いたしました。また、同年には町民を対象とした「壬生論語古義塾」を開講し、歴史に基づく確かな第一歩を踏み出しております。しかしながら、近年発見された歴史を広く浸透させることは難しく、引き続き「偉人顕彰」を行うことにより、壬生藩学、ひいては壬生という地域の特色を多くの町民に発信続ける必要があります。</p>
事業目的	<p>事業の目的を簡潔に記載</p> <p>「郷土の偉人顕彰作業」を行い、その結果を企画展やシンポジウムで発表し、住民が地域に誇りと愛着を持てるように啓発します。</p>
事業概要	<p>当該年度の実施内容、翌年度以降の取組等を簡潔に記載</p> <p>「郷土の偉人顕彰作業」では、歴史人の他、壬生の風土から輩出された芸術家を確認し紹介しました。この度確認された人物は、日本近代医学の父と称されたオランダ人医師ポンペに入門した壬生藩医です。鎖国の中、幕府が招聘したポンペに壬生藩から第一号の藩医生が入門した事実が確認されました。この事実は「国内初の医大生は壬生藩」となったことから、壬生藩の医学教育をテーマに、「壬生解剖」から栃木(県)医学校への歴史的背景を探りました。</p> <p>①企画展の開催:名称「壬生のヒポクラテスたち -医は仁術なり-」 会期:平成31年2月9日[土]-3月24日[日]</p> <p>②シンポジウムの実施:「壬生の赤ひげ、を語る」 日時:3月17日[日]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基調講演:青木歳幸(佐賀大学特命教授) ・パネリスト:石崎道治(医学博士・石崎家九代目)、鈴木紀子(順天堂大学医学史学研究室)、稲葉未知世(獨協医科大学医学史学研究室)、当館学芸員 ・コーディネーター:青木歳幸(同上)
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>各市町の戦略から抜き出して記載</p> <p>①先人たちの活躍を知ることにより、町民に郷土に対する誇りと愛着が生まれます。</p> <p>②全国に壬生藩校の出身者についての情報を発信することにより、交流人口の輪を広げます。</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①企画展「籠師 武関翠心一竹の技人」の開催 ②鼎談&ギャラリートークの実施	①企画展『壬生のヒポクラテスたち』の開催 ②シンポジウムの実施	平成31年度「郷土の偉人顕彰作業」は「壬生町民1000人による「論語、大朗読」、そしてギネス世界記録に挑戦を予定しています。		①企画展の開催 ②シンポジウムの実施
事業費	2,793,940	2,783,774	2,800,000	8,377,714	2,800,000
市町支出金(ソフト事業分)	2,793,940	2,783,774	2,800,000	8,377,714	2,800,000
うち県交付金	1,126,970	1,121,887	740,000	2,988,857	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	歴史民俗資料館学芸係
担当者名	中野正人
電話	0282-82-8544
FAX	同上
E-mail	rekimin@town.mibu.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	郷土の偉人顕彰作業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町補助金	2,783,774	
計	2,783,774	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	130,000	130,000	65,000	0	シンポジウム講師謝金
旅費	82,680	82,680	41,340	0	展示会に伴う資料打合せ及び集荷・返却等
印刷製本費	284,958	284,958	142,479	0	展示会グラフィック(ポスター、チラシ、チケット)作成
通信運搬費	1,296,136	1,296,136	648,068	0	展示会に伴う借用資料の集荷・展示・返却等
委託料	450,000	450,000	225,000	0	展示会ディスプレイ(パネル、キャプション、サイン)制作
補助対象外経費	540,000	540,000	0	0	展示会図録500部作成(300冊は販売、200冊は交換文献)
計	2,783,774	2,783,774	1,121,887	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	おもちゃのまち活性化プロジェクト
事業主体の名称	おもちゃのまち遊遊ワーキング
代表者の名称	会長 小林信作
事業主体の所在	壬生町通町12番22号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:おもちゃのまち地区の賑わい創出を目的とする。 ・設立年月日:平成30年7月(設立予定) ・構成員等:地元商店主、タクシー事業者、大学、銀行、商工会、おもちゃ関連施設、壬生町
当該事業に係る地域の現状と課題	おもちゃのまち地区は、昭和40～50年代にかけて、おもちゃ産業の拠点となった地区です。しかしながら、生産拠点が海外に移ったことなどにより、おもちゃ生産工場は相次いで撤退し、数社が残る状況です。現在は、全国でも珍しい地名「おもちゃのまち」として、「おもちゃのまちバンダイミュージアム」等を中心に「おもちゃ」の楽しさや面白さを来町される方へ伝えておりますが、住民や訪れる方から、「おもちゃのまちらしい雰囲気が感じられる」との声が多く寄せられて、まちづくりの課題となっております。
事業目的	おもちゃのまち遊遊ワーキングは、「おもちゃのまちらしさ」を醸し出せるよう、地域住民、商店主、地元ホテル、金融機関、おもちゃ関連博物館等がアイデアを持ち寄り、地域の力を結集し、まちづくりに取り組んでまいります。
事業概要	<p>おもちゃのまち遊遊ワーキングでは、おもちゃのまち地区の活性化を図るため、核となる施設「壬生町おもちゃ博物館」や「おもちゃのまちバンダイミュージアム」「ホスピタルイン獨協医科大学」を中心とし、おもちゃのまち駅東西の商店街も一体となったまちづくりを展開します。</p> <p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①おもちゃのまちDE観光ロゲイニング大会 おもちゃのまちを中心に、観光ロゲイニング大会を開催し、飲食店等に賑わいを創出した。 ②おもちゃのまちDEおもちゃづくり事業 おもちゃのまちで、昔ながらの水鉄砲やビーズアクセサリなどを作成し、知名度向上を図った。 ③「おもちゃのまち」うまいものマップ事業 おもちゃのまち駅周辺には、多くの飲食店があり、昨年度1月にオープンしたホスピタルイン獨協医科大学を利用する方々などの観光客に向けた飲食パンフレットを作成した。 ④「おもちゃのまち」街並み装飾事業 おもちゃのまち駅に設置されているシルバニアファミリーを装飾し、おもちゃのまちらしさを演出した。 <p>【平成31年度】</p> <p>平成30年度実施事業を検証しながら、事業展開を進め、活性化に繋がります。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	壬生町創生総合戦略 基本目標2 壬生町への新しいひとの流れをつくる 【数値目標】観光客入込数 3,805,764人(H26)→25%増加(H31)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	30年度	31年度	32年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①おもちゃのまちDE観光ロゲイニング大会 ②おもちゃのまちDEおもちゃづくり事業 ③「おもちゃのまち」うまいものマップ事業 ④「おもちゃのまち」街並み装飾事業	①おもちゃのまちDE観光ロゲイニング大会 ②おもちゃのまちDEおもちゃづくり事業 ③「おもちゃのまち」うまいものマップ事業 ④「おもちゃのまち」街並み装飾事業	①おもちゃのまちDE観光ロゲイニング大会 ②おもちゃのまちDEおもちゃづくり事業 ③「おもちゃのまち」うまいものマップ事業 ④「おもちゃのまち」街並み装飾事業		①おもちゃのまちDE観光ロゲイニング大会 ②おもちゃのまちDEおもちゃづくり事業 ③「おもちゃのまち」うまいものマップ事業 ④「おもちゃのまち」街並み装飾事業
事業費	1,000,003	1,000,000	1,000,000	3,000,003	500,000
市町支出金(ソフト事業分)	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	500,000
うち県交付金	500,000	500,000	500,000	1,500,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	3	0	0	3	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課商業観光係
担当者名	落合
電話	0282-81-1844
FAX	0282-82-1107
E-mail	keizai@town.mibu.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	おもちゃのまち活性化プロジェクト	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	精算額 (見込)	備考
壬生町補助金	1,000,000	栃木県わがまち未来創造事業補助金500,000円 壬生町補助金 500,000円
雑入	3	預金利子
計	1,000,003	

2 支出の部

科目	精算額 (見込)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	0	0	0	0	
消耗品費	409,433	409,430	204,715	3	装飾飾り、街コン消耗品など
食糧費	0	0	0	0	
印刷製本費	312,630	312,630	156,315	0	うまいものマップ10,000部 イベントチラシ1000枚 イベントポスター100枚
委託料	277,940	277,940	138,970	0	ロゲイニング開催支援業務
				0	
				0	
				0	
				0	
計	1,000,003	1,000,000	500,000	3	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	みぶの日開催事業
事業主体の名称	みぶの日実行委員会
代表者の名称	会長 櫻井 康雄
事業主体の所在	栃木県下都賀郡壬生町通町12番22号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:毎年3月2日「32(みぶ)の日」を中心に壬生町の魅力を発信するためのイベントを開催する ・設立年月日:平成27年12月 ・構成員等:社会福祉協議会、自治会連合会、商工会、JALもつけ壬生地区営農経済センターなど
当該事業に係る地域の現状と課題	本町は伝統芸能や優れた食文化等の地域資源を有しているが、認知度不足、担い手の高齢化などの問題を抱えており、有効に活用しきれていない状況が続いていることから、毎年3月2日「32(みぶ)の日」を位置づけて、その魅力を再認識するとともに、町内外に発信することが求められている。
事業目的	「みぶの日フェア」を開催することにより、町民の交流促進や地域資源の掘り起こしを図るとともに、町外や県外に向けて、壬生町の魅力を発信し、壬生町に訪れる方に「ちょっと寄りたいまち・みぶ」として定着を目指すことで、交流人口の増加及び町の活性化に寄与することを目的とする。
事業概要	<p>【各実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①各種ステージイベント: 壬生町出身アーティスト等によるステージ、壬生町の伝統芸能のステージ演奏 ②町特産品を活用した料理の提供: 特産「かんびょう」を使ったカミナリ汁、特産「みぶ菜」を使ったオリジナル料理など ③商工会加盟店による料理の提供 ④町特産品の販売: 特産物(いちご・トマト等)の販売、みぶブランド認定品の紹介・販売、おもちゃ関連の販売など ⑤体験コーナー: ふくべ細工づくり体験、かんびょうボウリング、缶バッジづくりなど ⑥参加企画: フェア来場企画として、最寄駅から徒歩で来場いただいた方にプレゼントを配布 <p>【平成31年度】 平成30年度実施事業を検証しながら、イベント等の充実を図る。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>壬生町創生総合戦略 基本目標2 壬生町への新しいひとの流れをつくる</p> <p>【数値目標】観光客入込数 3,805,764人(H26)→25%増加(H31)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	30年度	31年度	32年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①各種ステージイベント ②町特産品を活用した料理の提供 ③町特産品の販売 ④町の歴史・文化の紹介 ⑤体験コーナー ⑥参加企画	①各種ステージイベント ②町特産品を活用した料理の提供 ③町特産品の販売 ④町の歴史・文化の紹介 ⑤体験コーナー	①各種ステージイベント ②町特産品を活用した料理の提供 ③町特産品の販売 ④町の歴史・文化の紹介 ⑤体験コーナー		①各種ステージイベント ②町特産品を活用した料理の提供 ③町特産品の販売 ④町の歴史・文化の紹介 ⑤体験コーナー
事業費	583,585	600,000	600,000	1,783,585	600,000
市町支出金 (ソフト事業分)	583,585	600,000	600,000	1,783,585	600,000
うち県交付金	291,792	300,000	300,000	891,792	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策課
担当者名	宇賀神 政博
電話	0282-81-1813
FAX	0282-82-8262
E-mail	sougo@town.mibu.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	みぶの日開催事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	583,585	町補助金
計	583,585	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市	町		
委託費	421,338	421,338	210,669	0	会場設営(@329,778円) ステージ運営(@30,000円) 駐車場整理(@18,360円×3名)
報償費	90,000	90,000	45,000	0	出演料(@90,000円×5組)
印刷費	31,499	31,499	15,749	0	ポスター(@692.2円×30枚) チラシ(@21円×400枚) 消費税(2,333円)
消耗品費	40,748	40,748	20,374	0	事務用消耗品
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	583,585	583,585	291,792	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合